

地域の往診・訪問診療医を知ろう！ 報告

くるす医院

シリーズ第3回
広畑地域

開催日時:2024年3月14日(木)14:00~15:00 会場:姫路市立八幡公民館



この研修会は、主に介護職と医師の顔の見える関係づくりができ、介護職が気兼ねなく、必要な時に、適切な連携(情報共有や相談)ができるようになることを目的として、シリーズで開催しています。今回は、姫路市西蒲田(広畑地域)のくるす医院 院長 来栖 昌朗 医師に、自院の特徴や多職種との連携についてお話しいただき、多職種39名の方々にご参加いただきました。

・自己紹介、医院の紹介

在宅療養支援診療所(他4人の先生と連携)です

・往診、訪問診療や在宅での看取りについて

できる限り本人自身の希望の確認をおこないます

今までの患者様の人生と最期を迎える状況のイメージの共有を大切にしています

・多職種との連携について

FAX、携帯電話、医院への電話、名前を隠したLINEなどを活用しています

本人・家族の了承があれば診察室への同室可能です

・看取り対応で印象に残っている事例

・多職種へのメッセージ

一人の患者様を診る・看る・見るにおいては必ず連携が必要です

ヘルパーさん、栄養指導、リハビリ、院外薬局、歯科関連担当の方など、

お会いした時など情報交換しましょう。立ち話も結構好きです

ACPについては、関わった段階から積極的に話していくことが大切です

皆でコミュニティーしましょう！

・質疑応答



《アンケートより 一部抜粋》

- ・来栖先生のお人柄が伝わり、高いと思っていた医療との敷居が低くなった。
- ・先生がお話しして下さる研修があると、先生との距離感が少し縮まり相談しやすくなるように感じた。
- ・訪問診療をされている先生の考えや対応方法が理解でき、今後どのように連携を図るべきなのか参考になった
- ・訪問診療をされている先生の思いの一部を知ることができ、地域で生活される利用者さんの支援者にとって、とても心強い存在だと思った。
- ・要支援の状態の時から、ご本人様、ご家族様と今後についての話をしていくことが大切ということを知り、今後の支援に活かしたい。

★「地域の往診・訪問診療医を知ろう！」は、令和6年度も継続して開催します！決定次第ご案内いたします★